

## 川上村の 新たなスタート

役場の機構改革を行いました 12p

### ●主な内容●

|               |    |
|---------------|----|
| 所信表明          | 2  |
| 第1回川上村議会      | 5  |
| 家計調査、経済循環調査報告 | 7  |
| ワクチン接種について    | 9  |
| かわかみらいふ通信     | 10 |
|               | 11 |
|               | 13 |
|               | 19 |

### 川上宣言

一、私たち川上は、これから育つ子供たちが、自然の生命の躍動に素直に感動できるような場を作ります。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。  
毎号1項目ずつ掲載していきます。)

# 令和3年度 所信表明



3月議会で所信表明を行う栗山村長

ここに令和3年度における所信の一端を申し上げ、村民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年はじめに発生しましたパンデミック。新型コロナウイルス感染症は、世界を未曾有の危機に陥れ、私たちの日常生活は一変しました。日本では、政府、医療従事者、国民の努力により、第3波の勢いは少し陰りを見せてきたようでありますが、期待するワクチンが行き当たり成果をみせるまでは、全く油断はできません。日常の生活を取りもどすには相当の時間を要するものと思われまます。

幸い、本村では感染者が発生していませんが、引き続き細心の注意が必要であります。

あらためて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、医療従事者の皆様への敬意と感謝を申し上げます。

そうしたなか、コロナ禍にあつてスムーズな事業展開や村民皆さんとのコミュニケーションは思い通りにいかなかったものの、一昨年に整備した光ファイバーケーブルをはじめ、かわかみテレビやかわかみ放送、防災・行政ナビの運用を4月に開始することが出来、「離れてつながること」が可能になりました。あわせて、リモート会議などオンラインによる「新しい働き方」も実践できました。

また、3月23日には念願の「源流を守り、国土保全を推進する議員連盟」が設立され、「源流の価値」を国民的課題として広く共有していただくことになりました。これは大きな前進です。

また、相変わらずわが村の子ど

もたちは優秀で元気です。その子どもたちの学習環境をさらに整えたいとした「保育園並びに義務教育学校施設整備事業」についても、関係各位の深いご理解とご協力のもとで給食施設工事や実施設計にかかる協議を深めることが出来、仮校舎建設にかかる入札等も順調に進めることが出来ました。

新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年ではありましたが、おおむね所期の目的は達成できたものと考えています。

あらためて、関係各位に心より感謝申し上げます。

本村は、国と県の予算とその施策をふまえ、予算総額（一般会計）は34億800万円としました。

まずは感染症対策を徹底するとともに、ワクチン接種業務については、国や県の指導のもと、村が一丸となり万全の体制を整え、細心の注意をはらいながら、安心安全に実施する決意です。

そのうえ、引きつづき総合戦略のテーマである「住みごこち、居ごこちを整えること」と「新しい出会いと新たなつながりを求めること」にどんな欲に取り組む決意です。

とりわけ、この4月に実施する機構改革（詳しくは12ページ）による新体制をスムーズに機能させることとし、まずは今後のデジタル化等への対応、そして移住定住施策をより強化するために「川上ing作戦」を深化させたいと考えています。併せて子育て環境についてもさらに充実させます。

また、義務教育学校整備事業にかかる仮校舎建設工事と仮校舎での授業等に万全を期すとともに、給食施設工事や実施設計業務も着実に進めたいと考えています。

さらに令和4年度からスタートします「かわかみ源流グループ（仮）」についても、所期の目的達成のためにしっかり準備を進めたいと思います。

それでは主な施策や事業について説明させていただきます。

## 水源地の村づくりを

### さらに推進すること

村は第5次総合計画のテーマである「都市にはない豊かな暮らしの実現」を着実に進めてきました。「川上宣言」の価値を再認識するとともに、その価値を正しく伝えるために、これまでの取り組みとSDGsを結び付けた情報の発信

を引き続き拡大していきます。また、吉野川紀の川流域で、「川上宣言」に共感いただける人々を中心に積極的に協調しながら、地域の活力を最大限発揮し、互いに協調することのできる社会をめざします。

このことを意識して、令和2年3月に策定した「第2次環境基本計画」を推進していくとともに、本年は「SDGs未来都市」認定への申請をまとめます。

平成29年から水源地の村づくりの集大成として取り組んできた「かわかみ源流ツーリズム」については、重要な事業であるため時間を掛けてきました。特にその推進母体については、既存のふたつの財団法人のあり方も含めて検討を重ねました。その結果、先に述べたように「かわかみ源流ツーリズム推進全体構想」を進めるため、新たな母体として令和4年4月に「一般財団法人グリーンパークかわかみ」を生まれ変わらせ、「一般財団法人かわかみ源流ツーリズム」を設立し、公益財団法人との連携を強めるために「かわかみ源流グループ(仮)」体制を整えます。令和3年度ではこの準備として、源流グループの「体制の確立」

「経営方針の策定」、「業務執行計画の作成」を速やかに行うとともに、着手可能な事業について実施します。

そうしたなか、(公財)吉野川・紀の川源流物語は期待を超える働きをしております。上下流域の連携・交流、水のつながりプロジェクトなど積極的に展開しているところです。

今日まで充実させてきた学校教育支援の取り組みをさらに進めて、源流の価値を発信していきます。持続可能な社会につながる「紀の川じるし」や「ESD」の取り組みでは、流域の先生方とともに奈良教育大学からも高い評価をいただいています。



ESDの取り組み(源流体験学習)

森と水の源流館では、空調施設の改修に続き展示工事の改修に入ります。これは林業資料館(もくもく館)の役割を一部継承し、吉野林業の文化的側面を環境教育の中でも伝えていくこと、そしてポストコロナ時代に対応した展示手法をめざした改修です。

なお、「未来への風景づくり事業」はそのつながりも年々深まっております、その歩みを着実なものにするために今年も引き続き桜などの植栽強化を図る予定です。

また、堀井巖参議院議員をはじめ多くの先生方のご尽力をいただいた「源流を守り、国土保全を推進する議員連盟」が昨年3月23日に立ち上がりました。全国源流の郷協議会を中心に議員連盟に加入いただいている国会議員の先生方とさらに意見交換を重ねながら、源流白書の具現化に努めます。

### 健康な暮らしとコミュニティ

#### づくりをすすめること

今最優先することは、出来るだけ早く村民の皆さんに安全に安心してワクチン接種を行ってもらうことと考え、精一杯準備を進めています。接種会場でのシミュレーションや、感染予防対策を行います。

がらの接種方法など、皆さんが安心して接種できる準備を進めてまいります。

また、今年も引き続き健康で元気な暮らしを続けていただくため、健康づくり活動グループの支援を行います。コロナ禍ではありますが、感染予防をしっかり行いながら実施していただくため、保健師によるサポートも行っています。

さらに、東部地区にて実施してきたコミュニティナース事業を拡大し、村内全域で開始します。西部地区については診療所を拠点とし、医師との連携を深めながら安心して住み続けられる村づくりを進めます。



移動スーパーに同行する看護師

近年、人々の暮らしや地域のあり方が多様化・複雑化しており、本村においても公的なサービスだけでは対応が困難な、認知症、孤立、ひきこもりなどの事例も増加してきています。令和3年度より専門的な知識を有したコミュニティソーシャルワーカーを採用し、川上村に住む誰もが「孤立」することのないよう地域で支える仕組みづくりを進めます。

医療や介護に限らずさまざまなニーズに対応できるよう、社会福祉協議会、診療所、かわかみらいふ、さらにコミュニティナース、新たにコミュニティソーシャルワーカーを加え安心して暮らし続けられる村づくりをさらに進めます。今年度より第8期介護保険事業計画がはじまります。皆さんの介護予防の成果もあり、介護保険料（標準）は月額4,900円から4,600円に下がることとなりました。健康で元氣な暮らしが続けられるよう、引き続き積極的に介護予防支援に取り組んでまいります。

一方、子育て支援については、あらたにスマートフォンを使った小児科医・産科医に相談できるシステムを開始し、子育ての不安軽



子どもたちの笑顔があふれる村づくりを

減を図ります。また、やまぶき保育園の保育士を増やし、保育内容の充実と一時預かりの開始などを徹底して、子育て世代が住みやすい環境を整えてまいります。

なお、さくら広域環境衛生組合事業については、現在、敷地造成工事を進めております。また施設本体工事契約を令和2年度に締結し、令和3年度から3力年の工期で完成し、令和6年4月の稼働をめざします。

皆さんに引き続きご理解とご協力をいただきながら、かつ構成町村の連携を密にして、しっかり取り組む所存です。

## 住みごこちを整え、集落に「元氣」をつくること

区長をはじめ多くの村民皆さんからいただいたご意見をもとに、今後とも一緒になって村づくりに励む決意です。

昨年度は光ケーブルを活用した「かわかみ放送」や「かわかみテレビ」などによる情報発信の拡充を行い、新型コロナウイルス感染症対策として「離れてつながること」を実践してきました。また4月からは新たに、スマートフォン向け情報発信アプリ「川上村防災・行政ナビ」からのお知らせを、フューチャーフォン（ガラケー）で受け取れる「川上村お知らせメール」の配信を開始し、さらなる情報発信力向上に取り組んでいきます。

また整備した通信環境を活用して、5GなどのICTを活用した新たな産業、教育、医療などの可能性を広げ、テレワークの推進やシェアオフィスのような拠点づくりへの展開も検討し、今後さらに加速していくであろうデジタル化への対応にしっかりと取り組んでまいります。

住環境では、昨年は台風による被害は無かったものの、積雪と暴

風による停電があり、村民の皆さんに不安とご不便をおかけしました。これらを踏まえて、防災対策はもちろんのこと、村道や水道などのインフラ整備にも力を入れるとともに、村民の皆さんが安心安全に暮らせるよう、自主避難や自主防災についても改めて整えたいと思います。

次に、昨年表明させていただいた「倒木による停電対策」については、伐採範囲等について関係者との協議が難航したため実行に至りませんでした。今年度はこれら反省のもとモデル地区を選定し、地元の方々と連携のもとで実施したいと考えています。

一般社団法人かわかみらいふ



大きくなった新しい移動スーパー車両

は、コロナ禍においても日々の暮らしを支える大きな役割を果たしてくれました。さらに移動スパー車両を大型化するなど、より買入物の利便性向上に努めてまいります。

一方、仕事面でも住みごこちを整える事業を加速させます。新たに「事業協同組合かわかみワーク」を設立し、働きたい人と働いてほしい事業者のマッチングで持続可能な事業所支援に取り組みます。

また、もう一つの懸案である空き家対策については、空家等対策協議会において特定空家の認定を進め、整備や除却に向けた指導を所有者等に行ってまいります。また、空家の解体に対する補助金を設け、地域の生活環境の向上をめざします。

藤山浩先生（一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所長）にお願いし実施している人口、介護、地域循環型経済の分析については引き続き先生にお力添えいただきながら事業を継続してまいります。

分析では、小学生以下の人口の増減率は近畿中四国の過疎市町村の中でも優秀な状況であることから、これからの成果が確実に持続

するよう努力してまいります。

### 林業の6次産業化を推進すること

新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延は、創設6年目となる一般社団法人吉野かわかみ社中の販売部門にとっても、都市部での訪問営業や見本市出展を見合わせるなど厳しい事態となりました。

そんななかにあっても、取り引きのある方々からのご紹介やリモートでの商談など、今やれる活動を行っています。さらに、吉野杉のチップを原料とする「すぎ糸布クロス」や各種木製雑貨等の新商品開発、製品カタログや施工マニュアルの作成を進めるなど、アフターコロナを見据え、利用拡大



さぶりで実施した学校用材の製材見学

のための取り組みを精一杯進めてまいります。

また、義務教育学校整備事業では、令和6年の開校をめざし、土倉庄三郎翁が村長時代に造林を進めた高原村有林の伐採・搬出と村産材の調達及び製材作業が始まりました。村内の林業・木材業関係者が協力しながらそれぞれの持ち場で作業を進めています。

子どもたちは昨年8月に村有林でスギ大径木の伐採を見学しました。また先月、製材見学を行うなど「木の文化」の実践的な学習もスタートしたと言えるでしょう。

森林・林業に関する取り組みでは、森林環境譲与税を財源として、森林境界等の調査や危険木除去に加え、林業人材の育成、林道等の維持管理、森林環境教育、公共施設等での村産材及び木製品の利用など、制度の趣旨に基づく使途事業を、引き続き展開してまいります。うち森林経営管理法に基づく取り組みとして、東川区周辺の人工林で所有者の意向や境界調査を行いました。今年度は放置森林の整備と、他地域で同様の調査を予定しており、森林環境だけでなく住環境の改善にもつながってまいります。

日米両政府の脱炭素及び温暖化対策への取り組みの強化は、森林・林業の振興にとっては追い風です。「所有者の責務や役割」及び「地勢等に適した森林の形態」をベースに、国・県の施策や企業の動向等も考慮して、SDGsの目標のひとつでもある本村の「持続可能な森林経営」を追求したいと思えます。

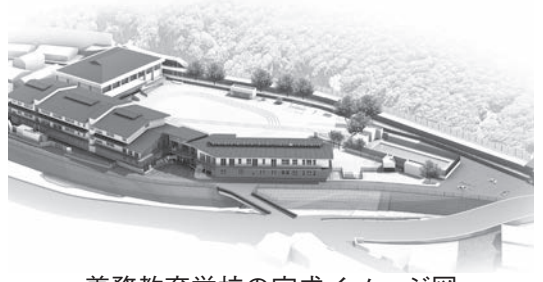
さらに、村有林の適正管理や木工作家との連携など、本村の森林・林業・木材業に関する諸課題についても、着実に進めてまいります。

### 「教育村」と若者定住をめざすこと

先人から受け継いだ本村の教育への熱い思いを次代へとつなぐため、今年度も「村づくりは人づくり 人づくりは教育」をモットーに、「15の春は正夢に」を実現するため、「教育村」としての営みをさらに進化させたいと思います。

義務教育学校整備事業は、基本設計を完了し、次の段階である実施設計に向けた着実な一歩を踏み出すため仕様書の検討や体制づくりを整えます。

新型コロナウイルス感染対策のため実施を遅らせた仮校舎改修工事も工事施工計画どおり順調に進



義務教育学校の完成イメージ図

んでおり、予定どおり8月中に小学生が引っ越しできるよう教職員と調整を重ねているところです。仮校舎関連予算として、仮校舎ICT環境整備及び給食調理施設改修工事、厨房機器購入など関連する予算の計上しました。また、新校舎関連として、実施設計及び現小学校の解体工事にかかる予算を計上しています。なお、申すまでもなく、これらの執行にあつては、議員各位のご意向ご意見を十分に踏まえ、教育委員会、保小中教職員、保護者等関係諸機関との協議を重ねながら進めてまいります。ご存知のように、本村の子どもたちの学習成果はやまぶきホールでの「かみせタイム」や「紅葉祭」

の発表においても明らかです。また、「全国少年の主張大会」の弁士や「社会を明るくする運動」の作文朗読者として、県内でも数少ない中に選ばれた生徒もいます。中学卒業までに3級取得をめざしている英語検定もほぼ全員がすでに2年生でパスするなど、すばらしい活躍を示しています。この子どもたちの頑張りに応え、将来のためにさらに良い教育環境を整えるべく邁進する所存です。

また若者定住については、従来の川上ing作戦を検証・見直しするなど、「さらなるつながり」を求めて徹底強化を図ります。そのために官民の知恵と力を結結した「川上ing作戦推進会議(仮)」を核として本作戦を展開したいと決意を新たにしています。また、地域おこし協力隊、集落支援員への支援、ふるさとワーキングホリデー事業へも継続して取り組んでまいります。

### 観光振興と企業や大学との連携を深めること

昨年はコロナ禍ではありましたが、近年のアウトドアブームもあり、白川渡オートキャンプ場や中井溪谷、井氷鹿の里などの来訪者



奈良女子大学の学生がデザインした  
ならコープのトラック

は年々増加傾向にあります。施設管理者とともにさらなる利便性の向上に努めます。

また、引きつづき水源地の価値を高めるために、大阪工業大学と昨年度からスタートさせた「源流学」を深めてまいります。そして村民の方々にもご協力いただきながら、「水源地の村づくり」を構成する「ヒト、モノ、コト」、その奥にある「想い」を共有し、関係人口の構築をめざします。

さらに奈良女子大学とは、学生視点による特産品の販売促進の提案や、既存商品のパッケージのリニューアルに取り組んでまいります。

その他、事業連携をおこなって

いる大学とも引き続き交流事業を積極的に展開し、村づくりにフィードバックさせたいと考えています。

最後に、先にも述べた藤山先生が、本村の近年の取り組みの成果を示されました。

そこには、「年ごとに村の人口動態が大きく改善し、人口安定の可能性が広がっていることがわかりました。近年取り組んで来られた定住増加策は大きな成果を上げつつあります」とあります。詳細は広報かわかみ3月号と本号10、11ページをご覧ください。

一方、我が宮口侗廸先生は、「人口や経済の大きさだけで地域を見るのではなく、人それぞれの暮らし方の価値がある。そして、そんな価値や地域がしっかり存在することが国の底力になる」と提言されています。

村づくりは、まだまだ「道半ば」であります。

引きつづき、矜持と誇りをもって「都市にはない豊かな暮らしを築くこと」にどん欲にチャレンジします。

皆さんのご理解とご指導をよろしくお願いいたします。

# 第1回川上村議会定例会を開催！

令和3年度当初予算など29議案が可決、承認、同意される

令和3年第1回川上村議会定例会が3月8日（15日）に開催されました。令和2年度一般・特別会計予算など29議案について審議され、いずれも原案どおり可決、承認、同意されました。

また、津本多正議員、塩谷章次議員、春増薫議員、辻晋司議員から一般質問がありました。

## ◎専決処分の承認を求めること

◆後期高齢者医療に関する条例の一部改正

## ◆介護保険条例の一部改正

地方税法等の改正により、用語の見直しが行われたため、関連する村条例を専決にて改正したものです。

## ◆令和2年度一般会計予算補正

1億9,124万9千円を減額し、予算総額は33億1,398万4千円となりました。

これは新型コロナウイルス感染症対策として、早急にワクチン接種の準備を整えるために、その準備費用を専決したものです。全額国庫補助を充当します。

## ◎村議会傍聴人取締規則の全部改正

主に表記の方法や名称などに関

して、全国町村議会議長会が示す標準議会規則を参考にした、時代の変化を反映した改正です。

## ◎家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正

本条例は厚生労働省令をもとにして都度改正を行ってきましたが、より効果的な条例管理の観点から、同省令と同様の内容を規定することを基本方針として改正を行うものです。

## ◎特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正

先と同様の条例改正です。

## ◎放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正

先と同様の条例改正です。

## ◎国民健康保険条例の一部改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴う条例改正と、令和6年度の県内統一に向けた保険税率および軽減制度の見直し、減免基準の統一化を図るため、村条例を改正するものです。

## ◎指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準を定める条例の一部改正

介護保険法の改正に伴い、感染症や災害への強化、地域包括ケアシステムや自立支援・重篤化防止の推進、介護人材確保や介護現場の革新についてを追記するため、条例を改正するものです。

## ◎介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正

先と同様の条例改正です。

## ◎介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

先と同様の条例改正です。

## ◎指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

先と同様の条例改正です。

## ◎指定管理者の指定

期間満了に伴い、再度指定を行うものです。

## 地域センター（道の駅など）

（一財）グリーンパークかわかみ

## 匠の聚

（一財）グリーンパークかわかみ  
白川渡オートキャンプ場

## 白川渡区

吉野川源流水源地の森  
（公財）吉野川紀の川源流物語

水源地の森交流施設  
（公財）吉野川紀の川源流物語

森と水の源流館  
（公財）吉野川紀の川源流物語

ふれあいセンター  
（一社）かわかみらいふ

## ホテル杉の湯

(一財)グリーンパークかわかみ

### ◎令和2年度一般会計予算補正

1億9,124万9千円を減額し、予算総額は33億1,398万4千円となりました。

これは事業費確定に伴う不用額として減額が行われたのが主な内容です。

### ◎令和2年度村営林野事業特別会計予算補正

529万9千円を減額、予算総額は5,693万9千円となりました。

これは事業費確定に伴う不用額として減額が行われたのが主な内容です。

### ◎令和2年度国民健康保険事業特別会計予算補正《直診勘定》

191万8千円を減額し、予算総額は1億530万3千円となりました。

これは事業費確定に伴う不用額として減額が行われたのもです。

### ◎令和2年度簡易水道事業特別会計予算補正

776万6千円を減額し、予算総額は1億3,927万2千円となりました。

これは事業費確定に伴う不用額として減額が行われたのもです。

### ◎令和2年度村立歯科診療所事業特別会計予算補正

47万8千円を減額し、予算総額は662万2千円となりました。

これは技工・診療委託料の執行残に伴う減額が行われたのもです。

### ◎令和2年度介護保険事業特別会計予算補正《保険事業勘定》

89万2千円を減額し、予算総額はそれぞれ3億2,893万1千円となりました。

これは事業費確定に伴う不用額として減額が行われたのもです。

### ◎辺地総合計画の変更

辺地対策事業債を村道補修事業に充当するため、当該計画を一部変更するものです。

### ◎奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更について

葛城広域行政組合解散による組織団体の減少に伴い、規約の一部を変更するものです。

### ◎特別職の職員で常勤のものの給料の特例に関する条例の制定

これは本村職員の不正会計による不祥事に対し、村長並びに副村長が管理監督者責任として給料を減額(村長・30%減額6カ月、副村長・10%減額3カ月)するものです。

### ◎一般質問

#### 津本多正議員

・事業協同組合かわかみワークについて

#### 塩谷章次議員

・環境対策について

#### 春増薫議員

・ヘリコプター料金大幅値上げと今後の林業施策について

#### 辻晋司議員

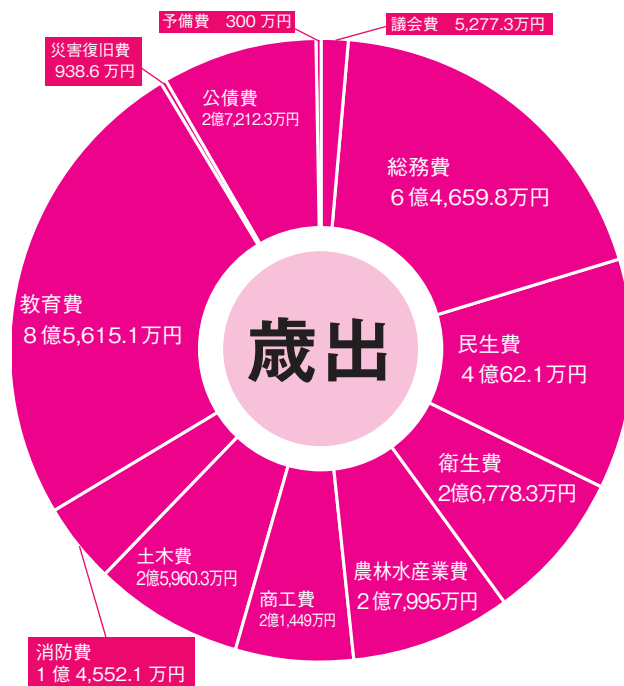
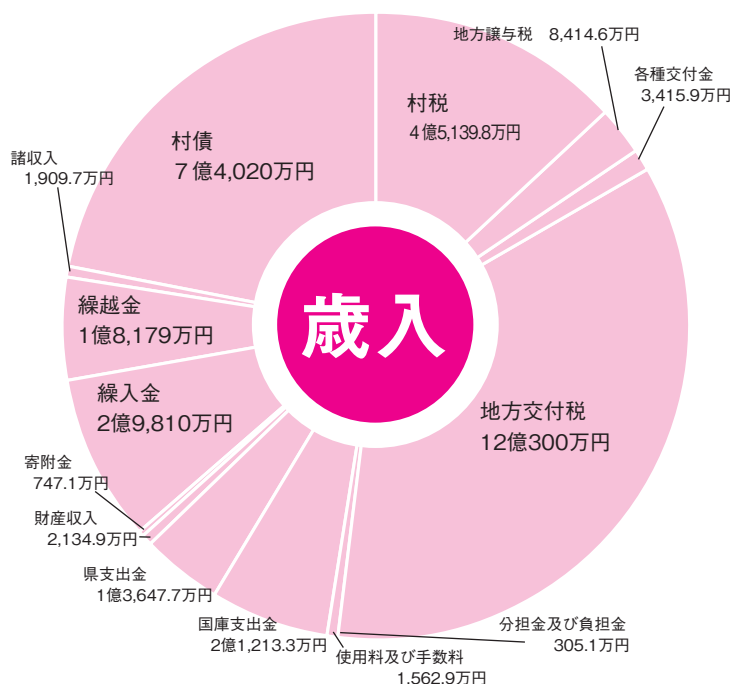
・公共施設、観光施設へのフリーWiFiの導入について



# 令和3年度 一般会計当初予算額は

## 34億800万円

前年度比：9,200万円増額（+2.77%）



### 令和3年度 特別会計予算

| 区分                     | 予算額         |
|------------------------|-------------|
| 村営林野事業                 | 4,275万円     |
| 国民健康保険事業<br>〈事業勘定〉     | 2億3,100万円   |
| 国民健康保険事業<br>〈直営診療施設勘定〉 | 1億774万円     |
| 簡易水道事業                 | 1億5,073.3万円 |

| 区分                     | 予算額         |
|------------------------|-------------|
| 水没者生活再建<br>対策事業        | 1,096万円     |
| 村立歯科診療所                | 700万円       |
| 介護保険事業<br>〈保険事業勘定〉     | 2億7,878.6万円 |
| 介護保険事業<br>〈介護サービス事業勘定〉 | 246.7万円     |
| 後期高齢者医療                | 3,648.6万円   |

### 令和3年度の主な事業

- ◆災害対策事業 800万7千円
  - ※昨年度更新したハザードマップの管理運用や、策定から5年が経過した地域防災計画の更新を行います。
- ◆源流ツーリズム推進協議会事業 1,216万7千円
  - ※新たな運営母体「かわかみ源流グループ（仮）」体制の令和4年からの稼働に向け、その体制整備を行います。
- ◆川上ing作戦事業 807万4千円
  - ※官民の力を結集し、さらなるつながりを求めて川上ing作戦を徹底強化します。
- ◆地域巡回事業 122万円
  - ※かわかみらいふを拠点に東部地区で行っているコミュニティナース事業を拡大し、診療所を拠点に西部地区でも行います。
- ◆特定地域づくり事業 1053万2千円
  - ※事業協同組合かわかみワークによる雇用のマッチングや、地域産業の活性化や担い手確保をめざします。
- ◆橋梁維持補修事業 1億440万円
  - ※村管理の102橋中、早期措置段階と診断された16橋を計画的に修繕し、残りの橋梁の点検作業を進めます。
- ◆保育園並びに義務教育学校施設整備事業 5億9,643万1千円
  - ※義務教育学校設立に向け、実施設計の作成、給食調理施設（しらくら会館）の改修、現小学校の解体工事を進めます。

# 川上村に所得を取り戻す！

## 経済循環の現状と課題

一般社団法人

持続可能な地域社会総合研究所

所長

藤山 浩



### 令和元年度の家計調査、

### 経済循環調査の成果報告

先月号に引き続き、「持続可能な地域社会総合研究所」による村の現状調査報告を行います。今月は令和元年度に行った村内の家計調査と経済循環調査の成果を踏まえて、村の経済循環の現状と課題をまとめ、今後の所得取り戻しの可能性を探っていきます。

## 食費のトップはお菓子！

### 外食は9割が村外

まず、家計調査の成果から紹介していきます。これは、村内の30世帯にご協力いただき、詳細な家計簿を3カ月つけていただき、川上村の家計支出の傾向を明らかにしたものです。川上村と類似した市町村での過去の調査データも活用し、バランスのとれた年間データになるよう必要な補正を行っています。

たものです。家計部門の食費では、総支出4億円のうち、7割以上が村外で購入されています。

食費支出の「御三家」は、上位から「お菓子」、「外食」、「肉」となっており、いずれも7割以上が村外で購入されています。特に「外食」の存在比率は、86・9%に達しています。このように、村外で商品を買えば買うほど、結果として所得が外に直接流れていくことになります。

グラフ1は、その食費部門の結果を示したもので、各品目の域内・域外購入額とその比率を示し

逆に一番村内での購入比率が高

いものは、「野菜」です。もちろん、すべてを村内で自給することは難しいことですが、流出が目立つ品

目の中で、村内でも販売できるもの、生産できるものを具体的に検討してはいかがでしょうか。

## 川上村の経済循環全体の概要

### 食費、交通、エネルギー費用が流出

次は、家計調査のデータだけでなく、役場の各課データを集約して、川上村の経済循環全体の概要を描いてみました。今や1番大きな支出部門は、医療と介護になっています。

門合計12億円の支出のうち、10億円程度が村外に流出していると推計されます。

一般的な出費で金額が大きなものは、食費、交通、エネルギーに関わる経費で、それぞれ5億円、4億円、3億円となっています。交通の費用の大半は、車両の購入費とガソリン代です。「かわかみらいふ」による移動販売やガソリンスタンド経営により食い止められている部分がありますが、3部

これから川上村に、定住を支える所得を取り戻そうとするならば、住民同士意識して村内での購入に努め、域内の商業や農業等を守っていく必要があります。そして、これからの循環型社会において、村内の森林資源等を活かし、エネルギーの地産地消を進め、合わせて電気自動車等も積極的に導入していくことも求められるのではないのでしょうか。



# 役場の新しい体制と人事異動

4月1日付けで役場の機構改革が行われ、課の名称や職員構成が変わりました。

各課の詳しい担当業務は、本紙折り込みの「わかりやすい村の補助制度」に掲載していますので、合わせてご覧ください。

## 総務税務課

|         |                   |      |                   |
|---------|-------------------|------|-------------------|
| 課長      | 森内 太              | 副課長  | 岸本光代（教育委員会事務局副次長） |
| 主任      | 今福和男（水源地課主任）      | 主任   | 森本倫巨              |
| 主任      | 穴田真由美             | 主任   | 垣内良太（総務税務課主事）     |
| 主事      | 山崎佳憲              | 主事   | 鈴木健太              |
| 主事      | 福中涼馬（教育委員会事務局主事補） |      |                   |
| 【議会事務局】 |                   | 事務局長 | 松本勝典              |

## 水源地課

|              |                         |     |               |
|--------------|-------------------------|-----|---------------|
| 課長           | 森脇 深                    | 主任  | 玉井孝明（地域振興課主任） |
| 主事           | 加藤 満                    | 主事  | 奥谷光平（水源地課主事補） |
| 主事           | 中野可央利（奈良県住まいまちづくり課より派遣） |     |               |
| 【源流ツーリズム推進室】 |                         | 副課長 | 佐藤 充          |

## くらし定住課

|     |                |     |                |
|-----|----------------|-----|----------------|
| 課長  | 辰巳龍三（総務税務課副課長） | 副課長 | 北澤宏暢（地域振興課副課長） |
| 副課長 | 坂本哲也（南都銀行より出向） | 主任  | 井筒明美（地域振興課主任）  |
| 主任  | 深堀 円（定住促進課主任）  | 主任  | 大辻孝則（地域振興課主任）  |
| 主事  | 亀井裕二（定住促進課主事）  |     |                |

## 林業建設課

|     |      |    |                |
|-----|------|----|----------------|
| 参与  | 上田一仁 | 課長 | 新宅 晃（林業建設課副課長） |
| 副課長 | 松本 直 | 主任 | 吉田志帆           |
| 技師  | 福西信和 | 技師 | 田中飛悠河          |

## 住民課

|         |              |     |                |
|---------|--------------|-----|----------------|
| 課長      | 杉本晃一（定住促進課長） | 副課長 | 伊藤康裕（住民福祉課副課長） |
| 主任      | 久保金也（水源地課主任） | 主任  | 松本由香梨（住民福祉課主任） |
| 主事      | 杉田好平（水源地課主事） |     |                |
| 【川上診療所】 |              | 医師  | 朴 英哲           |
| 事務長     | 徳永直美         | 看護師 | 梶本裕美子          |
| 看護師     | 永尾実里（新規採用）   |     |                |

## 健康福祉課

|           |                 |       |                  |
|-----------|-----------------|-------|------------------|
| 課長        | 丸井祐樹（住民福祉課長）    | 副課長   | 泉 寿一（定住促進課副課長）   |
| 主任        | 浦西優子（住民福祉課主任）   | 主事    | 村田達哉（住民福祉課主事補）   |
| 保健師       | 吉村由己子（住民福祉課保健師） | 保健師   | 小林姫子（住民福祉課保健師）   |
| 社会福祉士     | 越智祐子（新規採用）      |       |                  |
| 【かわかみらいふ】 |                 | 看護師   | 梅本久美子            |
| 【川上診療所】   |                 | 看護師   | 山口順子             |
| 【やまぶき保育園】 |                 | 主任保育士 | 中平克子（やまぶき保育園保育士） |
| 保育士       | 米田真規            | 保育士   | 中平優衣             |
| 保育士       | 押部理恵（新規採用）      | 保育士   | 南 亜紀（新規採用）       |

## 教育委員会事務局

|    |      |     |                    |
|----|------|-----|--------------------|
| 次長 | 新井寿彦 | 副次長 | 水口雅彦（教育委員会事務局指導主事） |
| 主任 | 中平 彰 | 主任  | 丸井真美（総務税務課主任）      |
| 主事 | 嶋田宏也 | 主事  | 永尾敏道（新規採用）         |

◎その他の異動  
◎退職

奈良県長寿・福祉人材確保対策課主事 栗山貴大（住民福祉課より派遣）  
久保晶代（総務税務課副課長） 田原昌幸（総務税務課主事）

## 新型コロナウイルスワクチンの接種について

新型コロナウイルス感染症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすことを目的に、村ではワクチンの接種をできるだけ安心して接種していただけるよう準備しています。

### ✓ワクチンの優先接種について

当面は確保できるワクチンの量に限りがあるため、国が示す優先順位に応じて、順次接種を進めていきます。

妊婦を優先するかどうか、子どもが接種の対象となるかどうかについては、安全性や有効性の情報などを見ながら検討されます。

### ✓接種が受けられる時期

4月中に届く125名分については、接種希望の高齢者で年齢の高い順に実施します。

【1回目】 4月28日（水）・29日（木）

【2回目】 5月20日（木）・21日（金）

それ以外の方はゴールデンウィーク以降で予定しており、順次案内します。

### ✓接種券（クーポン券）の発送

【高齢者】 令和3年4月中旬

【それ以外】 令和4年4月下旬発送予定

①高齢者（令和4年3月31日時点で満65歳に達する方）

②高齢者以外で基礎疾患のある方や、高齢者施設等で従事されている方

③それ以外の方

### ✓接種が受けられる場所：やまぶきホール

下記の方は住居地以外で接種してください。

- ・入院、入所中で、住所地以外の医療機関や施設でワクチンを受ける方
- ・基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける方
- ・住まいが住所地と異なる方（役場で手続き）

### ✓費用：無料

#### 【問い合わせ先】

健康福祉課 TEL 52-0111

## 小児科・産婦人科オンライン相談 のお知らせ

令和3年4月より、子育て支援の一環として村民が無料で利用できる「小児科・産婦人科オンライン相談」を導入しました。

これは小児科、産婦人科等の医療機関まで遠い川上村で、医療者とスマートフォンを介して気軽に相談することができることで、少しでも子育ての負担軽減を目的としています。

対象者は育児中の皆さん（0歳～15歳までのお子さんがいるご家庭）で、お子さまの健康に関する不安や疑問を、スマホアプリ「LINE」等で無料相談できます。

利用方法に関しては、今月の折り込みチラシをご覧ください。

#### 【問い合わせ先】

健康福祉課 TEL 52-0111

## 教職員の人事異動

### 川上小学校

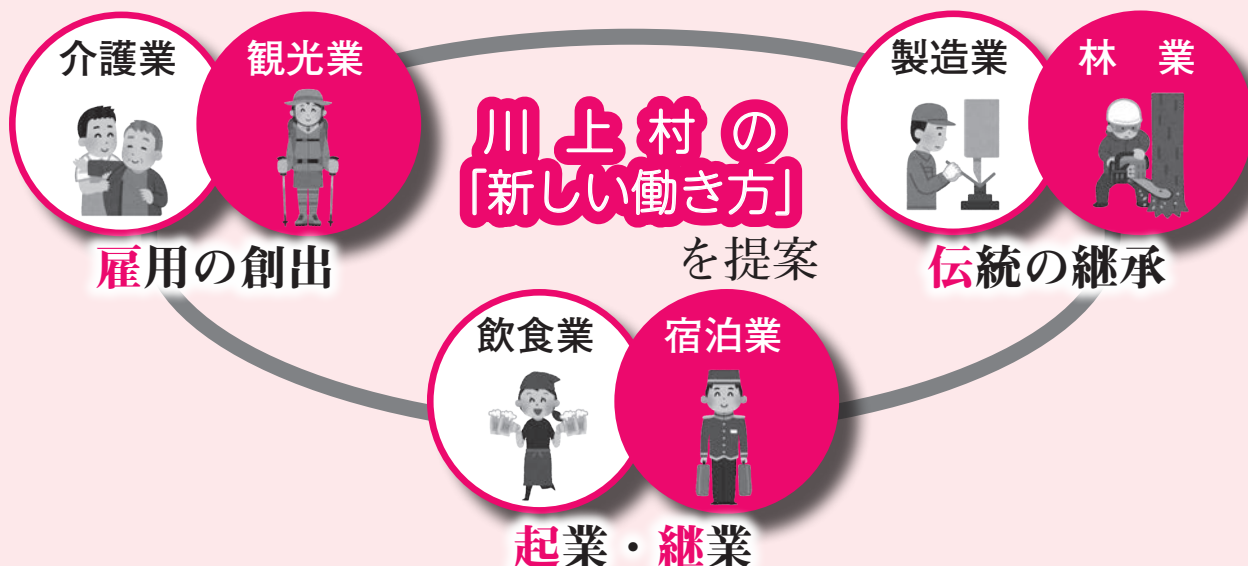
- ◎転入 教頭 森田 敏子（教育研究所）  
教諭 前田真由子（浮孔小学校）  
教諭 石川 隆文（県新規採用）  
講師 遠藤 優菜（村新規採用）
- ◎転出 教頭 山方 直（吉野小学校）  
教諭 辻本 舞美（真美ヶ丘東小学校）

### 川上中学校

- ◎転入 教諭 山田 哲史（畝傍中学校）  
教諭 奥井友加里（県新規採用）  
事務職員 寺田久美子（葛小学校）
- ◎転出 教諭 佐々岡和輝（大淀中学校）  
教諭 新 育（奈良教育大学大学院）
- ◎退職 事務職員 南 亜紀

# かわかみワークの事務所 を開設しました

4月1日、かわかみワークの事務所を労働会館1階（役場横の建物）に設置しました。今後この事務所で、派遣先の調整や、給与の支払いなどの事務を行います。



## 組合員を募集します〈4月30日（金）まで〉

年間を通じて雇用はできないが、  
繁忙期に人手が欲しい

求人をしているが、なかなか応募  
がない



人を雇いたいが、社会保険などが  
かけられない

事業を続けていきたいが、後継者  
がいない

そんな働き手を必要としている事業者を募集します！

### 派遣までの 流れ（例）

かわかみワークの事業説明・事業所の派遣ニーズのヒアリング

組合員からのヒアリングをもとに、組合従業員を募集

採用された組合従業員を依頼のあった村内事業者へ派遣

### ◆組合員加入要件等◆

- 村内事業者に限る
- 出資金 **1万円**
- 利用料 時間あたり **850～1,500円**  
※派遣先の職種等により変動

※かわかみワークは労働者派遣法に基づく派遣事業を行うため、同法により派遣を禁止されている業務（建設業務、警備業務、医療関係業務など）があります。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ先】 かわかみワーク事務局（迫1335-17 労働会館1階 ※シルバー人材センター隣）  
TEL・Fax：58-7256 Mail：info@kawakamiwork.com  
午前8時30分～午後5時（水・土・日・祝日を除く）

＼おめでとうございます！／

## 令和2年度 保・小・中 卒業（卒園）



3月16日に川上中学校、18日にやまぶき保育園、20日に川上小学校でそれぞれ卒業（卒園）式が行われ、1人の生徒、8人の園児、3人の児童が通い慣れた学び舎を後に、新たな旅立ちを迎えました。

昨年2月から新型コロナウイルス感染症が拡大し、なかなか例年どおりの授業や学校行事が開催できず、苦労したこともあったかと思いますが、関係各位や子どもたちの工夫と頑張りで、無事に卒業式を迎えることが出来ました。

この先、大人になり社会に出ていくなかで、つらいことや理不尽なこと、さまざまな困難に直面することもあるかと思いますが、そんな時は今年の経験を思い出し、逆境に負けずに強く生きていってほしいと思います。

4月からはそれぞれ新しい環境での生活がスタートします。特に新高校1年生は、村外での学校生活が始まり、初めてのことに戸惑うこともあるかと思いますが、そんな時は、今まで村で学び経験したことを活かして、またふるさと川上村に誇りを持ち、思いやりや感謝の気持ちを忘れずに、これからものびのびと成長してくれることを願っています。

## 吉野杉製「担ぎ桶太鼓」を寄贈

**樹** 齢約120年の川上産吉野杉を使用した「担ぎ桶太鼓」を、愛知県の株式会社三浦太鼓店（三浦和也代表）から寄贈いただきました。

同社は2年前に原木を購入し、桶太鼓用に製材して完成させ、3月3日にやまぶきホールにて行われた贈呈式で三浦代表から栗山村長に手渡されました。

三浦代表は「太鼓を通して吉野杉の良さを知ってもらいたい。太鼓づくりも林業も先人たちの知恵



栗山村長に太鼓を贈呈する三浦代表（写真右）



三浦代表による桶太鼓の比較実演

や想いが詰まっていて、それを後世に継承出来れば」と話され、栗山村長は「村自慢の吉野杉と、三浦太鼓店の匠の技が融合して素晴らしい作品となった。このように人と音楽と森の恵みをもっともつとつなげていきたい」と感謝を述べました。

贈呈後には三浦代表による桶太鼓の比較実演も行われ、来場者から素材による音の違いや、製造方法などに関する質問・感想が述べられました。

## 広報かわかみ編集委員長が退任

**平** 成4年から編集委員として、29年間広報かわかみを支え続けてくれた松本修さん（東川）が、3月末をもって退任されました。長年にわたるご尽力、本当にありがとうございました。

29年間お疲れ様でした。

4月からは鍵谷祥司さん（東川）を加えて、新しい体制で編集作業を行っていきます。今後とも皆さんのご愛読よろしく願います。

私は平成4年10月から広報かわかみ編集委員会に参加し、以降令和3年3月まで29年間、広報編集・発行に携わらせていただきました。

今年、年齢が84歳となり、高齢化により体調面も大変苦しくなっていましたので、3月末を最後として退任させていただくことになりました。

この間、自身にとって本当に楽しい29年間であったと感謝いたしております。

今後は一読者として、広報かわかみをかげながら応援していきたいと思えます。皆さんからの末永いご愛読をお願いし、退任のあいさつとさせていただきます。

本当にありがとうございました。

松本修



▶広報かわかみ編集委員会  
（写真中央：松本修さん）

# かわかもんがゆく。

—地域おこし協力隊活動記—




奥田 絵  
(入之波)

今年で地域おこし協力隊最終年になる奥田です。協力隊になって2年経ったことに驚いています。今年度は、主にふたつのことに取り組みたいと思います。まず、やまいき市です。やまいき市の持続可能な運営を考えるのが最大の課題です。次に、今年度からは事業協同組合かわかみワークでも週に2日、事務員として働くことになりま。かわかみワークは、主に村内事業所向けに従業員を派遣する組合です。この仕事を通して、村の「仕事」を見つめ直したいと思っています。

最後になりましたが、最終年の今年度をご指導・ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。



カパララ・デイビッド  
(北和田)

皆さんこんにちは。おかげさまで、私は川上村で順調に2年目を過ごしています。3年間の任期が終わっても、私の村への愛情とつながりは続きますが、3年目になつたら実現したいことや、まだできていないことを思い切つてやっていかなければならないと思つてます。私の基本の活動は動画撮影で、できれば皆さんの優しい心と村の美しい自然を多くの人に伝え続けたいと思っています。やまいき市の手伝いも続けて、次の新隊員にこの制度を紹介したいと思っています。まだ会ったことのない人々とながりを作りたいし、これまでのつながりをもっと強くしていきたいと思っています。これからもよろしくお願い致します。



高田 彩子  
(上多古)

皆さんこんにちは。4月で川上村に来て2年目を迎えました。これまでの暮らしに少しずつ慣れ、ありがたいことに地域の人にもたくさんお世話になっています。

昨年度は、出会った人から村のことや暮らしのコツを教わりました。地域おこし協力隊としての活動は、当初考えていたものとは違うところもあり心躍ります。自分・川上村・環境を見つめ続けた結果、「取り繕わない、ここにしかない、地域のひとと過ごす私の暮らし」を動画にすることを考えています。

まだまだ川上村初心者私にはわからないことがたくさんあるのですが、もし良ければ皆さんともっと暮らしを共有したいです。今年度もよろしくお願い致します。



向川 智己  
(東 川)

皆さんこんにちは。協力隊2年目になりました向川です。私は昨年の夏に川上村に移住してきたので、村で過ごす「初めての春」になります。なんだかフレッシュな響きですが、私も30代半ば。昨年度学び考えたことを、今年度は形にしていきたいです。上手くいく確信はありませんが、気持ちも春の陽気の様にワクワクしています。

一方、遊び半分で行っていた家庭菜園ですが、今年度は少し本腰を入れてみようと思いを進めています。目標は奥田くんが頑張っている「やまいき市」に出荷出来る野菜を育てる事！家庭菜園を通して、村の生き物や気象などを体験として知る事ができ、もっと川上村を体感できるのでは、と考えています。

以上のような想いで2年目を過ごして行きますので、ご声援の程よろしくお願い致します。



# さらに、前へ

「痛恨の極み」です。このたびの職員による不祥事について、あらためまして村民の皆さんに心よりお詫び申し上げます。

誠に断腸の思いであり、管理監督の職にあるものとして、その責任の重さを痛感しており、深く反省しています。日々、叱咤激励をいただき、かつ行政に大きな期待を寄せていただいている村民の皆さんの怒りと落胆は図り知れません。本当に申し訳ありません。

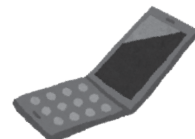
今回のことで、村民の皆さんはもとより、村議会議員や区長の皆さんからも、お叱りや励ましとともにさまざまな指摘等をいただきました。東谷議長からは「社会や組織は信頼関係なくして成り立たない。そのことをより確かな関係にするために、日ごろより意思疎通を図るとともに、教育や勉強会が大切である」とのご忠告をいただき、真摯に受けとめています。

今回のことで「水源地の村づくり」や「都市にはない豊かな暮らしを築くこと」が崩れ落ちたとは考えていませんが、信頼回復には相当な時間を要するものと覚悟しています。

あらためて行政が一丸となり、一層規範意識を高めて再発防止に努め、「水源地の村づくり」に邁進する所存です。どうか皆さん、お叱りとともに、ご指導ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 川上村お知らせメール

が始まりました！



昨年度から始まったスマートフォン向けアプリ「川上村防災・行政ナビ」からのお知らせを、フューチャーフォン（ガラケー）で受け取る「川上村お知らせメール」の配信が4月から始まりました。

イベントや生活情報、かわかみ放送で放送した内容も、いつでもどこでも確認できます。スマートフォンをお持ちでない方はぜひ登録してご活用ください。

1

携帯やパソコンから下記メールアドレス宛に空メールを送信

**nkwm@ansin-anzen.jp**

※件名や本文を入れずに送信するメール



2

返信メール本文のURLをクリックし、接続先の「本登録画面へ」のボタンをクリックし、登録完了！

川上村お知らせメールご登録

「川上村お知らせメール」

本メールシステムは川上村の防災、防犯に関する情報をはじめ、くらしや観光・イベントなどの情報を迅速にお知らせするメールシステムです。

仮会員登録が完了しました。  
下記のURLを開き登録画面へお進み下さい。

<http://www.ansin-anzen.jp/m/auth/index/id/3734023/key/5e0c8ac1c59733b44556f62860045100/?guid=on>

クリック

川上村お知らせメール

■会員登録■

「川上村お知らせメール」へのご登録ありがとうございます。  
下記「本登録画面へ」より本登録をお願い致します。

社外(SSL) | SSL無し

[本登録画面へ](#) [退会](#)

© TECHNOMIX

クリック

川上村お知らせメール 11:02

宛先: 川上村お知らせメール

防災訓練実施のお知らせ

9月1日の防災の日に合わせて、下記のとおり防災訓練を実施します。

と き: 9月1日 午前10時～  
と ころ: ○○公園  
内 容: 全員を安全に○○公園に誘導する訓練と消火器の使用方法について

○登録内容変更・配信停止・退会の方はこちら  
<http://www.ansin-anzen.jp/m/auth/index/id/3734023/?guid=on>

川上村お知らせメール受信画面

【問い合わせ先】 総務税務課 TEL 52-0111

3/29  
から

## 移動スーパーが新しくなりました!



子どもたちによるデザイン／屋根が大きく雨の日も安心／



みぎ

ひだり



**かわかみSS  
4周年記念  
キャンペーン  
開催!**

4月19日(月)～4月24日(土)  
・会員価格よりさらに2円  
引き!  
・ボックスティッシュ1箱  
プレゼント!



プレゼントした商品券で買い物を楽しむ児童たち

新しい移動スーパーのお披露  
目会を、3月15日に川上小  
学校の校門前に行いました。  
車両のサイズはひと回り大きく  
なり、以前より200種類も多  
い約700種類の商品を積むこと  
が出来ます。また車両のラッピン  
グは川上小学校の児童たちからデ  
ザインを募集し、匠の聚で制作し  
ました。子どもたちは自分の描い  
たイラストを見つけて、興奮気味に  
喜んでくれていました。  
今回のお披露目会では、デザイ

川上児童に新車両をお披露目

ンのお礼として300円分の特別  
商品券を子どもたちにプレゼント  
し、新車両に陳列した駄菓子を買  
入する買い物体験をしてもらいま  
した。  
子どもたちは第1号のお客さん  
としてお菓子を運び、自分たちで  
レジ打ちや袋詰めを行いました。  
買い物を終えた子どもたちから  
は「好きなお菓子がたくさんあっ  
てうれしかった」や「レジ打ちが  
上手くてよかった」などの声  
が聞かれました。  
より便利に、より楽しくお買い  
物ができる新しい移動スーパ  
ーを、皆さんぜひご利用くださ  
い!



# 図書館だより

NHK 大河ドラマ「青天を衝け」の主人公  
**渋沢 栄一** をひも解く

## 雄気堂々（上・下）

城山 三郎（新潮文庫）

明治時代に実業家として成功を収めた渋沢栄一の半生を描いた作品。「雄気堂々」という題名は、渋沢が好んだ「雄気堂々、牛斗を貫く」という詩からつけられています。



## 自分で考えて行動しよう！ こども論語とそろばん

斎藤 孝（筑摩書房）

「正しくお金をもうけて、みんなのために使おう！」  
渋沢栄一の名著「論語と算盤」の内容を小学生にもわかりやすく解説しています。

## シリーズ福祉に生きる 11 渋沢栄一

大谷 まこと（大空社）

日本資本主義の父とよばれた渋沢栄一ですが、一方で社会福祉事業や保健、医療関連事業などにも幅広く関与しています。その思想には、超高齢社会に直面した私たちへのヒントが隠されているかもしれません。



## DVD をご利用ください！

図書館ではDVDも貸し出しています。

「未来のミライ」「すみっコぐらし」「パラサイト 半地下の家族」「新聞記者」などの新タイトルも揃えていますので、ぜひご利用ください。DVDは傷つきやすいため、取り扱いには充分ご注意ください。  
※ご来館の際は事前予約とマスクの着用、手指の消毒にご協力をお願いします

【問い合わせ先】 村立図書館 Tel 52-0144

## 図書館カレンダー

●色の日が休館日●

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 |    |    |    |    |    |



## 過疎に打ち克つ

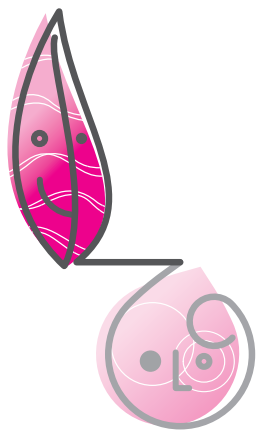
—先進的な少数社会をめざして—

宮口 侗迪（原書店）



過疎対策緊急措置法の施行から50年。筆者は総務省の過疎問題懇談会座長として、過疎対策のあり方を長く見つめてきました。過疎地域の関係者が自らの価値に自信を持って「都市にはない豊かな暮らし」を考えられるよう、多くの具体例と共に後押ししてくれる一冊です。「川上宣言」の起草にまつわるコラムも掲載されています。





# 森と水の源流館だより

April, 2021 vol.221

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

## 川上村の名所・旧跡 其の六十

「十二社神社（粉尾）」…十二社神社の森は、ウラジロガシやタブノキ、そして鹿の子模様の幹が特徴であるカゴノキなどの自生地として、奈良県の天然記念物に指定されています。森の中に立入ることはできませんが、お参りの際には、ちょっと派手な鹿の子模様の木を探してみてください。

※村内の名所・旧跡を簡単に紹介します。エコツアーなどに活用できるように情報を充実させたいと思います。

## 3月の水源地の森

3月12日に水源地の森に行きました。トチノキの芽吹きはまだ遠く、見上げると血管のように枝が空に広がっていました。でも、足元にはコガネネコノメソウなど春の妖精と呼ばれる植物たちが満開になっていました。



3月の水源地の森

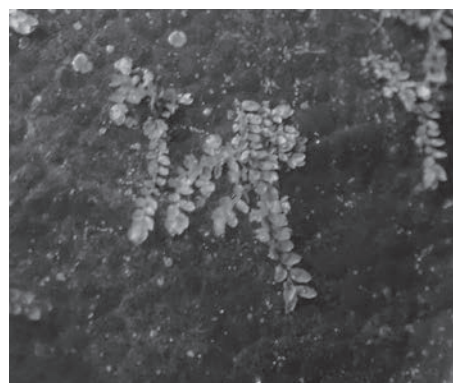
3月6日には令和2年度最後の公募事業として「吉野川紀の川しらべ隊」蜻蛉の滝のコケをしらべよう」を行いました。これは、体験型の調査を通じ、流域の生き物を記録し、環境保全意識を高める仲間を増やしていくとする事業で、今回はコケがテーマでした。みんなで、シャクナゲの葉の上に生育し、独特な臭いを放つ微小なカビゴケというコケを、ルーペで



トチノキ

観察しました。カビゴケは、東南アジアに分布の中心を持つ亜熱帯性のコケで、日本が北限になっています。暖地の渓谷などに生育し、大気汚染や乾燥などに極端に弱いことから、国の準絶滅危惧種に指定されています。このコケがいるところはすばらしい自然環境と言えます。

コケは約4億年以上前に水中から陸上に進出してきた最初の植物たちの生き残りと考えられています。



シャクナゲの葉の上に生育するカビゴケ  
葉の大きさは0.4mm程です

す。つまりその当時、世界で一番背の高い陸上植物はコケでした。そのうち草や木が進化してきたため、日光を浴びられなくなり、困ったコケたちの一群がカビゴケのように葉っぱの上などで生活する戦略を取っています。葉は光を受けて光合成をするために付けているものなので、日当りは最高です。カビゴケは光を受けてどんどん陣地を広げ繁栄しようとはしますが、そこで大変なことが起きます。木はカビゴケでいっぱいになり、光合成効率の悪くなった葉を落とすのです。そうなるカビゴケは一網打尽です。まさに平家物語の「盛者必衰の理をあらはす」です。生き物の世界も、観察するとつながりが見えて、人生訓にも似た学びがあるのが面白いですね。

## 感謝集会



今年お世話になった給食調理員さん、スクールバスの運転手さん、校務員さん、お話の会「雫」のみなさんに、感謝の気持ちをこめたプレゼンを渡しました。

多くの方のおかげで楽しく学校生活が送れています。



## お楽しみ集会



5・6年生が、全校お楽しみ集会を開いてくれました。前半は、「射的」「的あて」「ピンポン球ゲーム」「ボウリング」のミニゲームを用意してくれました。

後半は全校ゲームでとても盛り上がりました。

## 研究授業



「道徳科」の研究授業を行いました。今回は2年生と4・5・6年合同で実施し、川上中学校の先生も観に来てくれました。

また、奈良県立教育研究所の指導主事先生より高い評価をいただくこともできました。



## がんばりタイム



3学期のがんばりタイムでは「縄跳び」をしました。低学年・中学年・高学年に分かれて、八の字跳びにチャレンジしました。

どの学年も驚くぐらいたくさん跳べるようになりました。

## ありがとう給食



密をさけるため、全校でのお祝いはできませんでしたが、6年生の元担任の先生や今年、授業を教えてくれている先生方とともに、「ありがとう給食」を実施しました。

思い出の一つにしてくれるとうれしいです。



## 6年生を送る会



「6年生に感謝の気持ちを伝えること」「楽しんでもらうこと」を目標に、4・5年生が準備をしてくれました。

楽しい出し物やゲームなどをたくさんして、6年生に感謝の気持ちを表しました。

# 教育かわかみ

## 第99回 教育長通信

◇念願どおりの進路を獲得！

～中学校卒業生、

夢の実現に向かって出発～

少年野球で手ほどきを受けて一途に野球に邁進してきた貝谷太一君。高校では甲子園出場を目指し本格的に取り組みたいとの思いで受験。無事合格を果たし、夢に向かったの第一歩を歩み始めました。進学する高校は、プロ野球で活躍した有名選手や監督を輩出しています。夢の実現に期待します。

◇今春の教職員の人事異動

小学校…転出3名・転入4名  
中学校…転出3名・転入3名  
小学校に先生が1名増えることになりました。

《小学校》

元気者ではつらつとした山方直教頭が吉野小学校教頭に転出。新採用から7年間本村勤務で、明るくて頑張り屋の辻本舞美先生が、

新採用教員の初回異動で地元香芝市の真美ヶ丘東小学校へ転出しました。

代わって、県教育研究所から森田敏子指導主事が教頭に昇格。浮孔小学校から前田真由子先生が転入。さらに、本村勤務3年目を迎える石川隆文先生が、この度県新採用教員として着任。さらに村採用教員として、遠藤優菜先生が着任しました。

《中学校》

朗らかで元気者の佐々岡和輝先生（保体）が、新採用教員の初回異動で大淀中学校へ転出。作文指導等に頑張りをもせた新育先生（国語）が新たな就学のため奈良教育大学大学院へ進学。明るく爽やかな対応で事務職を勤めた南亜紀事務職員が、今春、新たにやまぶき保育園の保育士に着任するため退職となりました。

代わって、畝傍中学校から山田哲史先生（国語）が転入。保体担当には、県新採用教員の奥井友加里先生が着任。事務職は、御所市立葛小学校から寺田久美子事務職員が転入しました。

◇義務教育学校開校に向けて

《仮校舎となる現中学校校舎》

○工事の進捗状況

2月に工事を開始しました。中学生が現在使用している教室に小學生が入るため、まず中学生の教室造りに取り掛かっています。

○次のように工事が進みます

- ・現コンピュータ室を改築し、家庭科室（調理室・被服室）を造ります
- ・調理室、被服室を改築し、中学生用教室を2室造ります
- ・現保健室を改築し、中学生用教室を1室造ります
- ・現生徒会室を改築し、保健室を造ります
- ・LHを改築して、生徒会室を造ります。改築が完成次第、中学生が教室の移動を行います

○その後

- ・中学生が使用していた教室を小學生用に改築します
- ・玄関ホールを改築し、小学校職員室と昇降口を造ります

《仮校舎への引っ越し》

8月中旬以降に小学校が仮校舎

へ引越しを行う予定です。

2学期からは、現中学校校舎が義務教育学校の仮校舎としてスタートします。いよいよ小中同一場所での生活が始まります。

◇4月・5月の学校の動き

| 29<br>(木)  | 28<br>(水) | 27<br>(火)             | 26<br>(月)             | 23<br>(金) | 16<br>(金) | 15<br>(木) | 14<br>(水) | 12<br>(月)       |       |
|------------|-----------|-----------------------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|-------|
| 祝日<br>昭和の日 | 創立記念日     | 授業参観<br>PTA総会<br>お話し会 | 授業参観<br>PTA総会<br>保護者会 | フッ化物洗口    | フッ化物洗口    | 家庭訪問①     | 尿検査（一次）   | 全日授業            | 〈小学校〉 |
|            |           |                       |                       |           |           | 家庭訪問②     |           | 新入生テスト<br>生徒会説明 | 〈中学校〉 |



## 森と水の源流館

### ■未来への風景づくり見本園

#### 草刈りボランティア

大滝ダム建設で全戸移転となった旧白屋地区の生き物を観察をするとともに、人と自然の関わりの中で生き残ってきた大切な生き物を守るために必要な草刈りや、外来種の駆除などの作業を行います。

**と き** 6月5日（土）

**じかん** 午前9時30分～午後3時

**ところ** 未来への風景づくり会場（旧白屋）  
※現地集合・解散

**定 員** 10名（小学生以上） ※抽選

**締 切** 5月5日（水・祝） 必着

**【申し込み・問い合わせ先】**

《森と水の源流館 TEL 5 2 - 0 8 8 8》

## シェアキッチン（ふれあいセンター）のご利用 について

村民の方及び村内団体の特産品の販売商品の製造や、地域コミュニティ活動にシェアキッチンをご利用ください。

### 利用開始

4月19日から予約開始

4月26日から利用開始

### 利 用 日

平日・土曜・祝日（日曜休館）

### 利用時間

午前9時～午後4時30分

※時間外利用は応相談

### 利 用 料

無料 ※利用1回（1日単位）につき1,000  
円の光熱水費（洗剤等の消耗品代含  
む）が必要です

### 利用方法

- ①事前に「かわかみらいふ」へ連絡し、ご利用日を予約してください
- ②ご利用当日、「かわかみらいふ」事務室へお越しのうえ受付をしてください。  
その際に衛生管理チェックシートをお渡ししますので、衛生管理マニュアルを守って作業をしてください
- ③ご利用後は「かわかみらいふ」事務室に、衛生管理チェックシートの提出と1,000円を支払い、清掃、設備の確認を受けてください



### 注意事項

- 手指に外傷がないこと、体調不良がないことなどのご確認と、ご自宅での検温の実施をしたうえで、ご来館ください
- 作業内容に適した清潔な着衣、帽子、マスクをご用意ください。
- 特産品加工室内の調理器具は限られています。足りない調理器具及び原材料、容器などについては各自でご準備ください

### 製造許可がおりているもの

菓子製造業・瓶詰または缶詰製造業

**【申し込み・問い合わせ先】**

かわかみらいふ TEL 5 4 - 0 5 2 1

## ニコニコ号の予約先が変わりました



対象地区のご自宅から最寄りのバス停まで無償で送迎を行う「ニコニコ号」が、皆さんによりお気軽に利用いただけるよう、4月から「かわかみらいふ」で運行することになりました。

運行の内容は従来どおりですが、利用の**ご予約はかわかみらいふ (Tel 54-0521) へお電話**していただくようお願いします。

また初めてご利用の方は、お電話で簡単な登録（氏名・住所・生年月日など）を行っていただきます。



**運行日** 月～金曜日 ※祝日・年末年始を除く

**運行時間** やまぶきバス始発時間～終着時間

**運行内容** やまぶき・スマイル・ゆうゆうバスを利用する際に、自宅から最寄りのバス停までを送迎

**料金** 無料

**予約方法** 利用日の前日午後5時までにかわかみらいふへ電話で予約（受付時間：平日 午前8時～午後5時）

**対象地区** 白屋・高原・武木・井光・下多古・中奥・粉尾・神之谷・上谷・大迫・伯母谷・筏場

**その他** 予約が重なると乗り合せや時間の調整をお願いする場合があります

やまぶき・スマイル・ゆうゆうバスの利用以外での使用はできません

原則として村外の方は利用できません

**【問い合わせ先】** 総務税務課 TEL 52-0111

## かわかみ応援寄附金の成果報告

4月からの1年間で

**146件 11,655,000円**

のご寄附をいただきました！

ご支援をいただいた皆さん、本当にありがとうございます。返礼品提供事業者も引き続き募集していますので、ぜひご登録いただき、ともに「水源地の村づくり」に取り組んでいきましょう。

また4月から新しくクラウドファンディングによる寄附募集も始まるので、引き続きご協力よろしくお願いします。

### クラウドファンディングとは

「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」こと。

自治体や特定のNPO法人等の事業に対する寄附は、ふるさと納税と同じく、寄附金控除の適用となります。

### ふるさと納税型クラウドファンディング

自治体が解決したい課題を具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した人からふるさと納税によって寄付を募る仕組みのクラウドファンディングです。

**【問い合わせ先】** 総務税務課 TEL 52-0111

## ケーブルテレビ引込工事補助金について

令和元年度、こまどりケーブル株式会社と協働で、村内ケーブルテレビ網の光化を実施し、通信環境の拡充を行いました。

光ケーブルの引込工事費用増額に伴い、新しく補助金制度を整備しましたので、ぜひご活用ください。

※本紙折り込みのわかりやすい村の補助制度もご参照ください

**対象** 引込工事負担金（税別54,400円）を伴うこまどりケーブルのテレビ引込工事

**補助額** 30,000円

**申込** 役場に備え付けの**申請書と請求書**（工事完了確認書を添付）を総務税務課へ提出

**その他** 令和2年度に引込工事を行った対象者には、個別に案内を送付しています

**【問い合わせ先】**

総務税務課 TEL 52-0111

## 固定資産税縦覧期間について

固定資産縦覧制度は、納税者の皆さんが土地や家屋の評価額を比較検討し、自らの土地や家屋の評価額の適正さを判断していただく制度です。

この制度では、固定資産税納税者が「自己の土地または家屋の価格」と「村内のほかの土地または家屋の価格」との比較ができるよう記載帳簿（所有者・課税標準額・税額などは除く）を縦覧・確認することができます。

**と き** 4月1日（木）～5月31日（月） ※土・日・祝日を除く

**じかん** 午前9時～午後5時

**ところ** 役場総務税務課

**対 象** ・固定資産税【土地・家屋】の納税者 ・納税者の代理人（委任状の提示が必要）

**帳 簿** 土地価格等縦覧帳簿【所在・番地・地目・地積・価格】

家屋価格等縦覧帳簿【所在・家屋番号・種類・構造・床面積・価格】

**手数料** 無料

**必要物** 納税通知書、本人確認ができる書類（運転免許証等）、印鑑

**【問い合わせ先】** 総務税務課（固定資産税係） TEL 52-0111

## 高田こども家庭相談センター定期出張相談所開設について

高田こども家庭相談センターによる出張相談会が次のとおり開催されます。18歳未満の児童に関する相談を専門職が相談に応じます。お気軽にご相談ください。 ※事前に電話予約をお願いします

**と き** ○吉野町中央公民館

6月11日・8月13日・10月8日・12月10日・2月18日

○下市町保健センター

5月14日・7月9日・9月10日・11月12日・1月14日・3月11日

**じかん** 各日 午前10時30分～午後4時

**担当者** 高田こども家庭相談センター職員（児童福祉司等1名・児童心理司1名）

**【申し込み・問い合わせ先】** 高田こども家庭相談センター TEL 0745-22-6079

## らくらく元気塾実施場所募集のお知らせ

「らくらく元気塾」を実施する場所を募集しています。

公民館等で地域ぐるみの健康づくりをしませんか？

**実施予定日・回数**

1クール6回・木曜日の午後2時～4時

（受付午後1時30分～2時）

**令和3年**

6月：3日・10日・17日 7月：1日・8日・15日

11月：4日・11日・18日 12月：2日・9日・16日

**令和4年**

2月：3日・10日・17日 3月：3日・10日・17日

**内 容**

介護予防を目的とした運動と、管理栄養士や歯科衛生士、社会福祉士等の講座

**【申し込み・問い合わせ先】**

健康福祉課 TEL 52-0111

## ふるさと市場出店者募集 のお知らせ

毎年4月～11月の毎週日曜日・祝日、迫郵便局前駐車場でふるさと市を開催しています。出店に興味のある方は、右記の条件を確認のうえくらし定住課までお問い合わせください。

・一般的に村の特産品、民芸品といえるもの

・村内で生産、製造されているもの

※いずれかに該当

※年間を通じてではなく、**1回限りの出店も可**

※出店料は1回につき**500円**

**【申し込み・問い合わせ先】**

くらし定住課 TEL 52-0111

## てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

入選

寒雀生涯番とは知らず  
久し振り明り灯して雛の客  
裏山へ一人太鼓の鬼やらひ  
今年もや書棚に並ぶ木彫雛

住川 準典(武木)  
望月 彰美(迫)  
松本 全代(大滝)

佳作

手のひらの土の温もり春ここに  
節分の鬼追ふ罵声山に消ゆ

上田 一郎(伯母谷)  
新子谷生子(北和田)

特選

庭石もほんのり温し日向ぼこ

竹田サダ子(大滝)

評

田舎には、どこの家にも前栽があり、庭石が置かれている。作者は日向ぼこしたくて、腰かけてみたところ、こんな石にも日差しが十分に当たりほつりとした。つかの間の幸せを感じたのである。

特選

早咲きの桜が紅し触れてゆく

辻井 清子(大滝)

評

桜の一番咲きは、濃い紅色が目立ってあたりの風景を明るくする。誰しも春の喜びを感じる瞬間でもある。思わず、手に触れてその実感を味わいたい気分になる。

特選

たちまちに枯色を消し野火走る

前田 景子(大滝)

評

野火とは野焼きのことであり、冬ごもりした害虫を駆除するために、野原などの枯草を焼き払う火である。枯野に火が付くと勢いよく燃え上がるので、遠くからも目立つ光景である。まるで、火が走っていくように言う言得ている。



川上俳句会

森井美知代選

## 診療所 からののお知らせ

### 【整形外科診療日】

と き 4月21日(水)  
受付時間 午前8時30分～11時30分

### 【巡回診療日】

と き 4月27日(火)  
受付時間 午後2時～3時30分  
ところ ふれあいセンター(北和田)  
※受診される方は保険証をご持参ください  
【問い合わせ先】 川上診療所 Tel 52-0344



## 村営住宅入居者募集のお知らせ

### ◆東川高佐村営住宅(1戸)

|      |                  |
|------|------------------|
| 所在地  | 川上村東川428番地       |
| 住宅名  | 東川高佐村営住宅         |
| 建築年度 | 平成5年度            |
| 構造   | 木造2階建 3LDK・79.4㎡ |

### ◆宮の平村営住宅(1戸 1階部分平屋)

|      |                |
|------|----------------|
| 所在地  | 川上村迫1378番地     |
| 住宅名  | 宮の平村営住宅        |
| 建築年度 | 平成13年度         |
| 構造   | 鉄骨造 3LDK・79.6㎡ |

申込期間 4月12日(月)～16日(金)  
午前8時30分～午後5時15分  
入居時期 5月5日(水・祝)～6月4日(金)  
家賃 収入に応じて決定  
※家賃の3カ月分を敷金として納入  
※公営住宅法の規定による収入基準が259,000円以下であること(東川高佐村営住宅のみ)  
申込方法 入居申し込みに必要な書類に所要事項を記入し、本人または申し込み事情を詳しく説明できる方が原則持参して申し込んでください。  
※詳しくはホームページをご覧ください

### 【申し込み・問い合わせ先】

林業建設課 Tel 52-0111

# お誕生日おめでとう！「ますます元気に大きく育ってね」

機関車、働く車が大好きな秀敏。  
村の自然を満喫して、心楽しく  
生きていくようね！



ながお ひでとし  
永尾 秀敏く ん(白川渡)  
〈平成29年4月6日〉

4 歳

2歳の誕生日おめでとう！  
これから元気で明るく  
素直に育ってね！

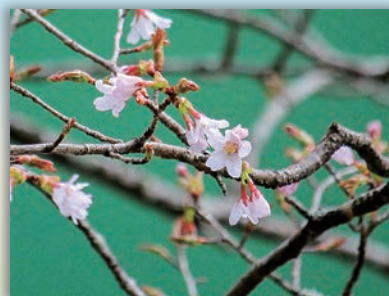


まるい えいた  
丸井 瑛太く ん(東 川)  
〈平成31年4月27日〉

2 歳

HAPPY BIRTHDAY

## かわかみの生き物



### クマノザクラ (熊野桜)

2018年に日本産サクラ属の種としては約100年ぶりの新種として記載されました。最近、川上村でも入之波などを中心に広範に生育が確認されましたが、まだ詳しい生育範囲の把握はこれからです。3月の上旬～中旬に開花し村内に自生するヤマザクラ、カスミザクラに比べ、花柄が短いこと(1～4mm)花序から出る花の本数が少ない(1～2本)こと、葉形の違い(狭い卵形)などで区別できます。

最近の研究ではオオシマザクラや園芸品種の染井吉野と雑種を作ることがわかりました。クマノザクラの自生地これらの桜を植栽すると本種が絶滅してしまう可能性が出てきたということで、保全上の課題となるでしょう。

## おくやみ

鍵 壽夫 様 (東 川)

坂口 末子 様 (西 河)

小向 春代 様 (東 川)

3月30日 84歳

3月8日 89歳

3月3日 82歳

## 「かわかみ応援寄附金」

医療法人 藤井会 様 (大阪府)

寄附金額 5,000,000円

## 村の人口

3月31日現在

人口総数 1,311人 (－4人)  
男 625人 (－1人)  
女 686人 (－3人)  
世帯数 768世帯 (－3世帯)

3月中の異動

転入 7人 転出 6人  
出生 0人 死亡 5人

## 広報かわかみ

令和3年4月12日発行

発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会

〒639-3694 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL 0746-1521011

ホームページ <http://www.vill.kawakami.nara.jp>  
メールアドレス [soumu@vill.nara-kawakami.jp](mailto:soumu@vill.nara-kawakami.jp)